

平成25年度教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (人間発達領域)

学習・ 基礎教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組みため、専門的技術と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポ健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S103405	上原 秀一	道徳教育	小中学校における道徳教育に関する基礎的な知識を習得する。	「人間発達領域専門科目」の選択科目である。人間の発達成長のあり方について学ぶための科目である。	・小中学校学習指導要領における道徳教育の位置付けを理解する。 ・小中学校の道徳の時間における授業の在り方について理解する。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
S103413	上原 秀一	道徳教育	小中学校における道徳教育に関する基礎的な知識を習得する。	「人間発達領域専門科目」の選択科目である。人間の発達成長のあり方について学ぶための科目である。	・小中学校学習指導要領における道徳教育の位置付けを理解する。 ・小中学校の道徳の時間における授業の在り方について理解する。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
S103421	中村 清	道徳教育	価値観が多様化したといわれる今日の社会において、道徳教育はいかなる原則に基づいて、いかなる方法を用いて行われるべきかを探究する。	本授業は人間発達領域専門科目であり、価値観が多様化したといわれる今日の社会において、道徳教育はいかなる原則に基づいて、いかなる方法を用いて行われるべきかを探究する。	・教育によって教えることのできる、また教えるべき道徳について、および学校教育における道徳教育の多様な方法について、理解を深めること。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
S103429	渡邊 弘	道徳教育	現代の道徳をめぐる諸問題を例示しながら、社会の中で人間が生きていく上で道徳教育がもつ意味と役割について考察する。	本授業は人間発達領域専門科目であり、様々な状況の中で主体的な道徳判断力及び実践力を養い豊かな社会性を育成していくことと社会の中で人間が生きていく上で道徳教育がもつ意味と役割について考察する。	・「道徳」および「教育」の意味と関心について理解する。 ・様々な状況の中で主体的な道徳判断力及び実践力を養い豊かな社会性を育成していくこと	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
S103502	青柳 宏	教育課程及び方法（特別活動を含む）	教育の目的とは何か、を改めて検討することから教育課程及び教育方法について考察する。具体的には平和主義、民主主義、平等主義の視点から教育課程及び教育方法について考察する。またこの考察をふまえて、「学力」概念についての再検討をおこなう。	人間発達領域の専門科目である。教育の真の目的とは何かを再考し、その目的を現実の社会の中でどのように組織的に実現し得るのか、ということに関わる構想力を育むことをめざす。	真の教育目的とは何か、を真摯に考え続けることができる。また現実の社会の中で教育目的をどのように実現していくか、ということについて構想することができる。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.1	0.2	0.3
S103510	青柳 宏	教育課程及び方法（特別活動を含む）	教育の目的とは何か、を改めて検討することから教育課程及び教育方法について考察する。具体的には平和主義、民主主義、平等主義の視点から教育課程及び教育方法について考察する。またこの考察をふまえて、「学力」概念についての再検討をおこなう。	人間発達領域の専門科目である。教育の真の目的とは何かを再考し、その目的を現実の社会の中でどのように組織的に実現し得るのか、ということに関わる構想力を育むことをめざす。	真の教育目的とは何か、を真摯に考え続けることができる。また現実の社会の中で教育目的をどのように実現していくか、ということについて構想することができる。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.1	0.2	0.3

平成25年度教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (人間発達領域)

学習・基盤教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組みため、専門的スキルと幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポーツ	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S103600	遠藤 忠	生活指導（進路指導を含む）	生活指導（生徒指導）は、学習指導と並ぶ学校教育の基本機能である。児童生徒の学校適応や自律を図り、社会的な自己実現を可能とする自己指導能力の育成を目指す指導の在り方であり、人間形成の中核を担うものであり、教職を目指すものにとつての最重要科目のひとつといえる。本科目では、児童生徒のさまざまな不適応問題を取り上げつつ、生徒指導の意義、指導の在り方等について、基本的理解を与えることを目的とする。	人間発達領域の専門科目であり、生活指導能力の基礎を育成する。	教員として必要とされる生活指導（進路指導を含む）に関する以下の基本的知識の習得。 ○生活指導（生徒指導）の目的・構造について。 ○教科等の学校教育の諸領域における生活指導の機能。 ○日本型生活指導（生徒指導）の意義と効果。 ○児童生徒の健全な成長・発達を保障するための指導の在り方。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.2	0	0.2
S103707	葉山大地	生徒指導・進路指導	生徒指導上及び進路指導上の諸問題について、その背景にある理論や指導方法も踏まえながら具体例に即して講義する。	人間発達領域の専門科目。各学校段階における生徒指導・進路指導の理論及び方法について学ぶ。各々の指導法に関する基礎的知識と技能を修得する。	・生徒指導及び進路指導の基本的な知識と指導方法を具体例に即して修得する。 ・現代の児童・生徒や学校が抱える生徒指導・進路指導上の諸問題について問題点を明確にし、それを考察できる能力と態度を修得する。	0.0	0.0	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1
S107303	澤田匡人	生徒指導・進路指導	生徒指導上及び進路指導上の諸問題について、その背景にある理論や指導方法も踏まえながら具体例に即して講義する。	小学校・中学校・高等学校教員免許に必須の教職科目。各学校段階における生徒指導・進路指導の理論及び方法について学ぶ。各々の指導法に関する基礎的知識と技能を修得する。	・生徒指導及び進路指導の基本的な知識と指導方法を具体例に即して修得する。 ・現代の児童・生徒や学校が抱える生徒指導・進路指導上の諸問題について問題点を明確にし、それを考察できる能力と態度を修得する。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
S103804	澤田匡人	生徒指導・進路指導	生徒指導に関する基礎的知識を含む進路指導の理論と方法について具体例に即して講義する。	小学校・中学校・高等学校教員免許に必須の教職科目。各学校段階における進路指導・生徒指導の理論及び方法について学ぶ。各々の指導法に関する基礎的知識と技能を修得する。	・生徒指導及び進路指導の基本的な知識と指導方法を具体例に即して修得する。 ・現代の児童・生徒や学校が抱える進路指導上の諸問題について問題点を明確にし、それを考察できる能力と態度を修得する。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
S103901	川原誠司	教育相談	教育相談に携わる教師が必要な観点について講義する。また、授業の中で出来るだけ討論や実習を加えて、講義内容を実感できたり、受講生同士の人間関係を促進するように留意する。	本授業は、学校教育教員養成課程の課程共通科目であり、課程における専門性を高めるという目標に対応している。	「相談」というものを実感し、それにまつわる知識ならびに態度、スキルを積極的に学んでいく姿勢を身につける。それを自分が接する対象に少しでも活かせる応用力を磨く。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2
S103910	白石智子	教育相談	教育相談の領域、対象、方法に関する講義を行い、基礎的な知識をどのように活用するかという実践的な課題について扱う。	本授業は、学校教育教員養成課程の課程共通科目であり、課程における専門性を高めるという目標に対応している。	・教育相談の位置づけおよび理論と実践について最低限の知識と態度を身につけること。 ・受講生各々が「教育相談の視点」をもち教育現場に活かすこと。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.2	0.1	0.2

平成25年度教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (人間発達領域)

学習・基盤教育 ・教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組みため、専門的技能と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感を持ち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポーツ	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S104002	葉山大地	教育相談	教育相談の対象となる諸問題について、その背景にある理論や指導方法も踏まえながら具体例に即して講義する。	小学校・中学校・高等学校教員免許に必須の教職科目。各学校段階における教育相談の方法と内容について学ぶ。また、カウンセリングに関する基礎的な知識と理論及び方法を修得する。	・カウンセリングの基本的な知識も含む教育相談の基本的な知識と指導方法を具体例に則して修得する。 ・現代の児童・生徒や学校が抱える諸問題についてその実体や問題点を明確にし、それを考察できる能力と態度を修得する。	0.0	0.0	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1
S150004	上原秀一	教育哲学	今日の教育に関する諸概念を哲学的に吟味するために、過去の教育思想に関する基礎的な知識を修得する。	「人間発達領域専門科目」の選択科目である。人間の発達成長のあり方について学ぶための科目である。	・近代における教育思想の課題の構造を理解する。 ・今日の教育思想の構造の歴史的な成り立ちを理解する。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
S156002	青柳 宏	教育方法学	幼児教育、学校教育、その他の教育現場（少年院、識字教室等）における教育方法について、ビデオの視聴、文献の購読を通して検討していく。	人間発達領域の専門科目である。様々な教育の方法を人間形成の視点から検討していく力を育むことをめざす。	様々な教育を人間形成の視点から検討し、評価することができる。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.1	0.2	0.3
S108105	藤本一男	視聴覚教育	Googleなどで用いられているハイパーテキスト一致分析等、身近になった情報技術を実際に見せながら、視聴覚教育メディアの意義と学習支援の方法についての理解を図る。	本授業は人間発達領域専門科目であり、「視聴覚教育」に関する知識や指導法を修得させ、視聴覚教育メディアの意義と学習支援の方法を学ぶ。	・「思考の道具」としてコンピュータを知る。 ・ハイパーテキストの実際がわかる。 ・マルチメディアムービーが作成できる。 ・デジタル化と著作権問題について知る。 ・情報技術と倫理について考察できる。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
S154409	渡邊 弘	日本教育思想史	本授業では、「文学でつづる日本の教育思想史」と題して、特に明治期から現代までの主な（教育文学）をとりあげて、各時代の教育（特に学校教育）の特徴と教育思想上の問題について、受講者とともに考えていきます。	本授業は人間発達領域専門科目であり、近代から現代までの教育史を文学を通して考察する。	・わが国の近代から現代の教育思想の歴史的特徴とその課題について理解する。 ・特に、人間観（子ども観）と形成観の二つの視点から、明治期、大正期、昭和前期、昭和後期、そして現代の五つの時期の特質を理解する。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
S150106	上原秀一	国際化と教育	国際化の進展に伴って今日の学校と社会に生じている様々な教育課題について基礎的な知識を習得する。	「人間発達領域専門科目」の選択科目である。人間の発達成長のあり方について学ぶための科目である。	・教育における国際化の進展状況を統計などを活用して理解する。 ・教育の国際化に対応した様々な教育改革の進展状況を理解する。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
新設科目	上原秀一	教育統計学	教育統計を活用して我が国や諸外国の教育の特徴を調べるための基礎的な知識を修得する。	「学校教育専攻専門科目」の「教育学領域」の選択科目である。学校教育の基盤となる教育学を学ぶための科目である。	・国内の教育統計を活用して我が国の教育の経年変化の状況を調べる方法を修得する。 ・国際的な教育統計を活用して我が国の教育の国際的な特徴を調べる方法を修得する。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

平成25年度教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (人間発達領域)

学習・基礎教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組みため、専門的技術と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポーツ	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, …, 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S152007	藤井佐知子	比較教育	諸外国の教育や学校の制度・態様を比較教育文化論的観点から学び、各国の特色を明らかにするとともに、それらとの比較を通して日本の教育・学校の特質を浮き彫りにしていく。個人・グループによる発表と全員によるディスカッションを行う。	人間発達領域の領域専門科目として、国際的視野から教育の歴史、現状、課題などの比較検討を行うことで、教育に関する幅広い教養と興味関心を喚起する。	・現在日本で問題になっている教育事情を国際的観点で考察できるようになる。 ・各目のテーマに沿って文献資料を元に発表資料を作成し、的確な発表を行うことができる。 ・発表内容について質問・意見を出すなど、議論に積極的に参加することができるようになる。 ・政治・経済・文化などと関連づけながら教育問題を考察できる能力を養う。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1
S158005	未定	学級経営	主に小・中学校における学級担任の職務についての全体的、構造的な理解を図り、学級担任を担当できる基礎知識を与えることが、本科目の目的である。わが国の学校教育における学級担任の仕事は、欧米諸国に比べきわめて幅広く構造的である。その理由は、生活指導(生徒指導)の仕事がわが国の学校教育において広い内容を含んでおり、そのおおくに学級担任がかかわっているからである。したがって、本科目の学習は、わが国の学校教育の目的、特質に即した学級担任の職務を遂行する上で重要である。	学級経営は、学級担任が学習指導と生徒指導の両機能を担う学級の経営の中で医科に調和的に実現していくかについて教えるものであり、生徒指導の上級科目というべきものであり、教職課程におけるより高い教育内容である。	学級担任の職務に関する以下のような基本的知識の習得が目標である。 ○学級担任の法定職務。 ○学級担任の教育上の職務。 ○生活指導(生徒指導)と学級担任の職務。 ○学級担任と教室管理について。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.2	0	0.2
S162002	白石智子	臨床心理学	本授業では、臨床心理学の基礎知識として、心理的問題や精神障害について代表的なものをいくつか取り上げ、それぞれの症状にはどのようなものがあるか、また、どのように形成・維持・変化すると考えられているかについて、生物学的・心理的・社会的視点から講義する。	本授業は、総合人間形成課程の人間発達領域専門科目に含まれ、領域の専門性を高めるという目標に対応している。	・心理的問題や精神障害の操作的定義およびメカニズム論について、最低限の知識を身につけること。 ・学びを通して、人間を多次元的・統合的に捉えられるようになること。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2
S160000	石川 隆行	発達心理学	生涯発達心理学の視点により、精神発達の法則と機構について、講義します。特に発達と学習の相互作用に重点を置いて、現象的な変化の背後にある因果関係について考えます。	人間発達領域の専門科目の1つです。乳幼児期から青年期までの発達を生涯発達との関連の中で、その様相とメカニズムについて学びます。	・生涯発達心理学の立場から、現実の幼児・児童・青年の行動と心を理解する手法と能力を身につけます。 ・発達段階に応じた幼児・児童生徒の特性について基礎的な理解を深めます。	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.2	0.1
S160500	川原誠司	人格心理学	人格心理学に関する基本事項(性格の類型と特性、性格検査、人格発達、人格障害)を講義する	本授業は、総合人間形成課程の人間発達領域専門科目の一つであり、領域における専門性を高めるという目標に対応している。	・人格についての基本的な知識や見方を習得すること。	0.0	0.0	0.0	0.6	0.2	0.1	0.1	0

平成25年度教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (人間発達領域)

学習・ 基礎教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組みため、専門的技術と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポーツ	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S161006	石川 隆行	学習心理学	心理学の1つの専門分野である「学習心理学」に関する理論や様々な研究知見を具体例に則して講義します。	人間発達領域の専門科目の1つです。「教育心理学」における学習と学習指導に関する内容を深めます。	・「学習心理学」に関する基本的な知識を学習理論と学習指導法の側面から修得し、効果的な学習指導のあり方を考えることができるようにする。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1
S163009	澤田匡人	社会心理学	心理学の1専門分野である「社会心理学」に関する理論や様々な研究知見を具体例に即して講義する。	高等学校の「公民」免許を取得するための選択必修科目であり、人間発達領域における専門科目としての意義を持つ。社会調査に関する教材研究を行うのに必要な知識と技能を育成する。	・社会心理学に関する基本的な知識と研究方法を具体例に即して修得する。 ・各自の体験にも拡張される様々な現象について社会心理学的な理解を深める。	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.1	0.1	0.1
S169007	石川隆行 澤田匡人	心理統計学	調査や実験の解析で用いられる統計の理解と実践を演習形式で行う。心理学的研究で用いられる基礎的な統計の手法(無相関検定・t検定)を取り上げる。	人間発達領域の専門科目の1つとして、心理統計の基礎知識を授け、この分野への幅広い興味関心を喚起する。	・記述統計(平均値・標準偏差・相関)の意味や算出方法を具体例に即して修得する。 ・推測統計(無相関検定・t検定・回帰分析)の意味や算出方法を具体例に即して修得する。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.1	0.3	0.1
S950110	川原誠司	心理療法 I	代表的な4つの心理療法について講義する。	本授業は、総合人間形成課程における人間発達領域専門科目に含まれ、領域の知識を深めるといった目標に対応している。	・各心理療法の基本的な用語や考え方を習得すること。 ・各心理療法の有効性と制限とについて理解すること。 ・日常場面で適用を考えること。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.1	0.3	0.1
S950115	白石智子	心理療法 II	本授業では、心理療法 I における概論を踏まえた上で、特定の心理療法の理論と実践について講義を行う。	本授業は、総合人間形成課程における人間発達領域専門科目に含まれ、領域の知識を深めるといった目標に対応している。	・取り上げた心理療法の背景理論を理解すること。 ・取り上げた心理療法のエッセンスを、日常生活に実践応用できること。	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1	0.2	0.2	0.1
S166008	橘川 真彦	発達心理学特講	今日の子どもの発達や教育についてのトピックスを取り上げ、発達心理学の研究ではどのようなところまで成果が得られているか講義する。	人間発達領域の専門科目である。トピックスとして、いじめ、不登校、非行などの背景にある心理的発達の問題について学ぶ。	・いじめ、不登校、非行などの背景にある心理的発達の問題について深く理解する。 ・発達問題を解決する指導法や環境構成についての技能や能力を習得する。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.1	0.1	0.2
S950125	石川 隆行	教育心理学特講 A	教育心理学における特定の研究テーマを取り上げます。今年度は「向社会性」に関わる諸問題について、その背景にある理論や様々な研究知見を具体例に即して講義します。	人間発達領域の専門科目の1つとして、効果的な教育活動ができるよう基礎的な知識を提供します。この分野における興味関心を引き出します。	・「向社会性」に関する基本的な知識を理論と発達の面を中心に修得し、学習した内容を「向社会性」という見地から、現代の心理教育的問題について自らがまとめることができるようにする。	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.1

平成25年度教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (人間発達領域)

学習・基盤教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組むため、専門的技術と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポ健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号								
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す								
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	
S950130	石川 隆行	教育心理学特講B	教育心理学における特定の研究テーマを取り上げます。今年度は「子ども」に関わる諸問題について、その背景にある理論や様々な研究知見を具体例に則して講義します。	人間発達領域の専門科目の1つとして、効果的な教育活動ができるよう基礎的な知識を提供します。この分野における興味関心を引き出します。	・「子ども」に関する基本的な知識を理論と心理的過程の面を中心に修得し、学習した内容を「子ども」という見地から、子どもにとってより良い学習活動とはどのようなものかを自らで模索できるようにする。	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.1	
S950135	橘川 真彦	人権問題と心理学			基盤教育科目へ移行									
S950145	澤田匡人	感情心理学特講	心理学の1専門分野である「感情心理学」に関する理論や様々な研究知見を具体例に即して講義する。	人間発達領域の選択専門科目の一つとして、感情全般に関する基礎的な知識を授け、この分野への幅広い興味関心を喚起する。	・感情心理学に関する基本的な知識と研究方法を具体例に則して修得する。 ・各自の体験にも拡張される様々な現象について感情心理学的な理解を深める。	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.1	0.1	0.1	
S950150	川原誠司 橘川真彦 澤田匡人 白石智子 石川隆行	教育心理学実験	それぞれのトピックについて実際に研究や査定を行い、実体験し、方法を身につける。	本授業は、総合人間形成課程の人間発達領域専門科目の一つであり、領域における専門性を高めるという目標に対応している。	・それぞれの研究方法はどのようなことを測定する場合に有効な方法なのかを理解する。 ・特定の方法のもとでのデータ収集の仕方や分析の仕方を学ぶ。	0.0	0.0	0.0	0.6	0.1	0.1	0.1	0.1	
S107648	川原誠司	教育臨床学演習Ⅰ	「不登校」「学級崩壊」「いじめ」「虐待」などの学校現場や教育に関する臨床的トピックを取り上げ、それについての基本的な文献や資料を検索・整理してもらい、発表する。	本授業は、人間発達領域の専門科目の1つであり、教育の場を中心とした人間発達や人間形成のあり方について学んでいく。	教育臨床的な各トピックについての概要を理解し、自分が今後そのような状況におかれたとき、対象者にどのように向き合うかをじっくり見つめる。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.1	0.3	0.2	
S107656	川原誠司	教育臨床学演習Ⅱ	教育者や養育者としての心のあり方について実例を挙げながら検討し、それらの心理的要因の重要性を理解すること、受講生の自己分析を行うことといった活動を行う。	本授業は、人間発達領域の専門科目の1つであり、教育の場を中心とした人間発達や人間形成のあり方について学んでいく。	教育臨床的な各トピックについての概要を理解し、自分が今後そのような状況におかれたとき、対象者にどのように向き合うかをじっくり見つめる。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.1	0.3	0.2	
S107664	川原誠司	カウンセリング実習	紙上応答やロールプレイ、ボランティアなどでの活動を通して、カウンセリングに必要なやりとりに着いて綿密に検討し、内省を深める。	本授業は、学校教員養成課程の「教科または教職」に含まれ、多専攻からの教育臨床的な関心に応え、力量向上を支援する。	カウンセリングの基本的なスタイルを修得する。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.1	0.3	0.1	

平成25年度教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (人間発達領域)

学習・基盤教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組むため、専門的技術と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポーツ	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号								
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す								
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	
S818005	非常勤講師	社会教育計画Ⅰ	この授業では、社会教育主事養成コースにおける内容のうち、「社会教育の対象の理解と組織化」、「社会教育施設の経営」、「社会教育調査とデータの活用」、「社会教育事業計画」について理解を深めることをねらいとした授業を行なう。	この授業は人間発達領域の専門科目であり、また「社会教育計画Ⅱ」とともに、大学における社会教育主事任用資格取得のための必修授業である。特に社会教育主事として実務を遂行するための基礎的な考え方や手法についての理解を促すことで、実践力の形成と向上を期待する。	<ul style="list-style-type: none"> 地域における住民の学習活動、地域自治活動を促進するための、地域の生涯学習・社会教育計画の策定やその実践、およびそれらのコーディネートを行う意義や手法の理解。 実際に社会教育計画を立案、運営、評価する実践力を身につける。 今後、社会教育について研究を進めていくための基礎的な力量の形成。 	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
S818501	佐々木 英和	社会教育計画Ⅱ	受講生がグループ発表や司会を行ったり、それらの活動結果などについて相互に評価しあったりすることをとおして、社会教育事業の企画・運営について主体性を発揮するための疑似体験をしてもらう。	社会教育計画Ⅱは、大学の社会教育主事養成コースにおける教育内容のうち、「地域社会と社会教育」「学習情報提供と学習相談」「社会教育と広報・広聴」「社会教育の評価」について深めることを目標としたものである。	受講生に、実際に社会教育主事として働く場合にはどのような技能や心構えが必要かを自覚・自己査定してもらうとともに、社会教育主事有資格者にふさわしい実力を着実に身につけているという社会的評価がなされる程度の力量の獲得を目標に置く。 <ul style="list-style-type: none"> 社会教育についての企画・立案ができる。 効果的にプレゼンテーションができる。 	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
S920217	廣瀬隆人	社会教育演習	授業は5回に分けて実施され、最終回で自分たちの企画した事業を実際に県の総合教育センターで行う。そのため4回で事業の企画・立案を小グループにわかれて行う。	社会教育計画Ⅰ及びⅡに対応した形で行う。この科目は人間発達領域の専門科目であり、また社会教育主事資格取得希望者のための科目としても開設されている。その場合、社会教育演習、社会教育課題研究、野外教育、野外運動演習、地域調査実習のうち二科目を選択する。	社会教育主事として、専門的な知見をふまえた実践的な能力及び学習者とのコミュニケーション能力の養成を図ることを目標とする。 <ul style="list-style-type: none"> 社会教育事業の企画書を書くことができる。 小集団で合意形成し、一つの事業を実施することができる。 一般市民との対話経験を通じて、ルールや方法を伝えることができる。 	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.4	0.3	0	
S900208	宇賀神 民代	保育内容の指導法(健康)	子どもが健康で安全な生活を送っていくために、保育者として必要な知識を身につけ、保育における幼児の健康問題とその対応について理解する。また、子ども自身が自分の健康のために身につけるべき生活習慣を学び、発達段階に応じた指導の内容と方法を学ぶ。	人間発達領域の専門科目として、乳幼児の発達と健康との関係を理解するものである。	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教育要領と保育所保育指針の領域「健康」を理解する。 幼児の発達過程を理解し領域「健康」具体的な内容と指導方法を学ぶ。 保育における幼児の健康問題とその対応について様々な視点から考察する。 	0.0	0.0	0.0	0.1	0	0.1	0.4	0.4	
S900500	木村 壽子	保育内容の指導法(言葉)	乳幼児期の重要な発達課題の一つであることばの獲得と発達について学び、発達に基づいた保育展開の必要性について理解する。また、領域「言葉」とは何か、どのような内容であるのかを、保育内容の歴史の変遷や教育要領・保育指針の内容比較、他領域との関係性等について学ぶとともに、子どもの言葉を豊かにするための具体的な保育内容や指導法について理解する。	人間発達領域の専門科目として、言語表現活動を通じた人間発達、とくに乳幼児期の発達について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児のことば獲得と発達について理解し、発達のプロセスを説明できる 領域「言葉」のねらい・内容について理解し、それを実際の保育展開に結び付けることができる 子どもの豊かな言語生活のために保育者が行うべき援助内容や配慮点について理解する 	0.0	0.0	0.0	0.1	0	0.1	0.4	0.4	

平成25年度教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (人間発達領域)

学習・基礎教育 学習・教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組むため、専門的技術と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感を持ち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポーツ	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号								
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す								
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	
S900305	青柳 宏	保育内容の指導法 (人間関係)	幼児 (人) が人 (他の幼児、大人など) と関わることの本質的な意味とは何か、また幼児期における人間関係の発達について考察する。また、これらをふまえて、人間関係を育むための保育内容と方法について検討していく。	人間発達領域の専門科目である。乳幼児期において乳幼児 (人) が人 (他の幼児、大人) と関わることの本質的な意味を理解すること、またそれを実現していくための教育 (保育) を構想していく力を育むことをめざす。	乳幼児期における人間関係の意味を理解できる。発達及び人間形成の視点から、乳幼児の人間関係を育む教育 (保育) を構想できる。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
S900040	佐々木 和也	保育内容の指導法 (環境)	人間の発達における土台を形成する幼児期の育ち環境のあり方について、保育現場の実際を知ると共に、乳幼児期の環境教育の立場から学ぶ。	人間発達領域の専門科目として、乳幼児の発達と環境との関係を理解するものである。	地域の風土や伝統を生かして、乳幼児が様々な体験ができるようにし、共感・驚き・感動を大切に、身近な環境に関心を持つようにするために、どのような支援をおこなうべきか、基本的な知識と態度を養うことを目指す。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.3	0.2	0.2	
S900607	株田 昌彦	保育内容の指導法 (表現)	授業の前半では、幼児の造形活動の支援に有効と思われる造形技法について教授し、後半ではそれらを踏まえた紙芝居の制作指導を行う。授業の最後には制作した紙芝居を子どもの前で発表するための指導を行う。	幼稚園教諭及び保育士免許取得のための開設科目	幼児の成長発達過程における造形表現について関心を高め、造形表現支援に重要と考えられる「素材の発見」、「プリミティブな表現」、「見立て」といった視点や技術を修得する。また、応用例として紙芝居を制作し子どもの前で発表する事で、子どもの視点に立った言葉掛けを考える事が出来る。	0.0	0.0	0.0	0	0	0.3	0.5	0.2	
S102417	橘川 眞彦 青柳 宏 溜池 善裕 出口 明子 香織	生活科教育法	生活科の設置の背景、教科の特質、低学年児童の心理的特質、社会認識・自然認識の発達の特質などを明らかにし、生活科の指導計画の作成、教材づくり・環境構成や指導と評価の基本的在り方について講義する。	人間発達領域の専門科目である。低学年の発達段階に応じた教育内容及び教育方法委について学ぶ。年間計画の作成、教材分析、単元計画等教職としての基礎的技能を習得する。	・低学年児童の自己認識、社会認識、自然認識の様式を理解できるようになる。 ・生活科の指導計画の作成、教材づくり・環境構成・指導と評価について基礎技能を習得する。	0.0	0.0	0.0	0.4	0	0.2	0.2	0.2	
S102425	橘川 眞彦 青柳 宏 熊田 禎介 出口 明子 香織	生活科教育法	生活科の設置の背景、教科の特質、低学年児童の心理的特質、社会認識・自然認識の発達の特質などを明らかにし、生活科の指導計画の作成、教材づくり・環境構成や指導と評価の基本的在り方について講義する。	人間発達領域の専門科目である。低学年の発達段階に応じた教育内容及び教育方法委について学ぶ。年間計画の作成、教材分析、単元計画等教職としての基礎的技能を習得する。	・低学年児童の自己認識、社会認識、自然認識の様式を理解できるようになる。 ・生活科の指導計画の作成、教材づくり・環境構成・指導と評価について基礎技能を習得する。	0.0	0.0	0.0	0.4	0	0.2	0.2	0.2	

平成25年度教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (人間発達領域)

学習・基盤教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組むため、専門的技能と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感を持ち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポーツ	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S107800	川島芳昭 石川賢村 松和彦 丸山剛史	総合学習の指導	社会にとって必要な課題解決能力を習得するために、「総合的な学習の時間」を題材に、学習指導要領や実践例を基に指導展開の設計、指導方法、さらには評価方法などに必要な基礎的・基本的な知識・技能を習得することを目標として講義する。	社会における普遍的・今日的課題を解決する知識・技能を習得するために、「総合的な学習の時間」に関する知識や指導法を基に、課題解決の意義を知らせる。	・従来の総合学習の理論や実践を概観するとともにカリキュラムにおける統合や教育方法の特質が言える。 ・小・中・高の各学校における「総合的な学習の時間(以下 総合学習)」が設置された背景やねらい、その教育的意義について説明できる。 ・総合学習の実践事例等を参考に課題解決に必要な基本的な考え方を習得し、その手順を設計をすることができる。	0.0	0.0	0.0	0	0.3	0.2	0.4	0.1
S702230	梅永 雄二	発達障害児教育概論	文科省によると、一般の小学校・中学校に知的に障害を伴わない高機能自閉症、アスペルガー症候群、LD、ADHDとが約6.3%存在すると報告されている。よって、彼らの障害特性を理解し、一般の学級における指導技法を学習する。	特別支援教育が盲・聾・養護学校から一般の小・中学校へ広がり、そこに在籍する発達障害児の課題について学習することは、教師として重要な意義を持つものと考ええる。	LD、ADHD、高機能自閉症と言われる発達障害児の特性を理解し、小・中学校における彼らの指導技法を学習することを目標とする。	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1
S702110	未定	知的障害児心理・生理・病理	知的障害児の心理・生理・病理を概説すると共に、その実態把握の方法を明らかにする。	特別支援学校教員免許を取得するための必修科目であり、とくに知的障害児の心理特性を理解する入門編である。	知的障害児の心理特性を理解し、個々に応じた支援のあり方を学ぶ。	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1
S702130	池本喜代正	特別支援教育概論	障害とは何か、その概念について考察を加え、障害児教育がどのような変遷をしてきたかを学び、今日の特別ニーズ教育の国際的動向について学ぶ。そして我が国の特別支援教育の制度・課題について考察する。	特別支援学校教諭免許状を取得するための必修科目であり、特別支援教育の入門的な概論である。特別支援教育に関する関心を深め、基礎的な知識の獲得を目指す。	・ICF(国際的生活機能分類)による障害の捉え方について、理解する。 ・障害児の教育がどのように生じ、発展してきたか、障害児教育史に関する知識を獲得する。 ・今日の我が国における特別支援教育制度や教育の現状についての基礎的な知識を獲得する。	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1
S702140	池本喜代正	肢体不自由児教育概論	肢体不自由の原因、特徴、特性について学ぶ。肢体不自由児教育の教育課程・教育内容について学習する。	特別支援学校教諭免許状を取得するための必修科目であり、特別支援教育における肢体不自由児教育の入門的な概論である。肢体不自由のある児童生徒の教育について関心を深め、基礎的な知識の獲得を目指す。	・肢体不自由の病因について基礎的な知識を獲得する。 ・肢体不自由特別支援学校における教育課程や教育内容の特徴について学ぶ。 ・肢体不自由児に対する教育について関心を持ち、教育の在り方について考える機会とする。	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1
S702170	池本喜代正	病弱児教育概論	病弱教育の対象の変遷と今日の病弱教育対象児の特徴について学ぶ。病弱児教育の教育課程・教育内容について学習する。	特別支援学校教諭免許状を取得するための必修科目であり、特別支援教育における病弱児教育の入門的な概論である。病弱の児童生徒の教育について関心を深め、基礎的な知識の獲得を目指す。	・病弱児教育について基礎的な知識を獲得する。 ・病弱特別支援学校における教育課程や教育内容の特徴について学ぶ。 ・病弱児に対する教育について関心を持ち、教育の在り方について考える機会とする。	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1

平成25年度教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (人間発達領域)

学習・基礎教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組みため、専門的技術と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポーツ	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, …, 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S702220	岡澤 慎一	重複障害児教育概論	重複障害、重度重複障害および重症心身障害といわれる人への教育的対応において重要な視点に関して理解を深める。	特別支援学校教員免許を取得するための必修科目であり、肢体不自由児心理学、病弱児生理学の履修を前提とした応用編としての意義を持つ。	・重複障害、重度重複障害および重症心身障害といわれる人への教育的対応において重要な視点に関して自分の考えを述べることができる。 ・重複障害がある子どもの音声言語以外の様々な“ことば”を受信できる	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2
S923003	石川 賢	情報科教育法Ⅰ	情報化社会を生きるために必要な情報活用能力の基礎を習得するため、高等学校教科「情報」の教育目標、内容、方法について、情報に関する教育のカリキュラムの中に位置づけて系統的に講義する。	情報化社会を生きるために必要な情報活用能力の基礎を習得するため、高等学校学習指導要領の情報編に示されている指導目標や指導内容などに基づき、授業を計画するための基礎知識を修得する。	・教科「情報」の設置の背景や趣旨を説明できる。 ・高等学校学習指導要領の情報編に示されている指導目標、指導内容などを説明できる。 ・授業を実践するために適切な指導資料や教材等を指摘できる。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1
S923100	石川 賢	情報科教育法Ⅱ	情報化社会を生きるために必要な情報活用能力の基礎を習得するため、高等学校教科「情報」の教育目標、内容、方法に基づいて、教科「情報」の指導のあり方や学習指導を実践するための知識・技能について多面的に講義・演習する。	情報化社会を生きるために必要な情報活用能力の基礎を習得するため、高等学校学習指導要領の情報編に示されている指導目標や指導内容などに基づき、授業の計画・実践・評価について修得する。	・教科「情報」の学習指導案を作成できる。 ・授業の目標分析やカテゴリ分析ができる。 ・模擬授業を実践できる。 ・授業分析を通じて、授業の評価と改善策を検討できる。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1
S921205	川島芳昭	情報技術演習Ⅰ	情報化社会における課題の解決手順を設計するために必要な基礎的な知識・技能を、コンピュータプログラミングの演習を通じて習得する。	社会における普遍的・今日的な課題を解決するには、課題解決のための適切な手順の設計が必要である。本授業は、そのために必要な基礎的な知識・技能を習得する。	・コンピュータの基本的な情報処理の仕組みを説明できる。 ・コンピュータの基礎的なプログラミングの知識・技能を習得する。 ・情報処理の手順を考え、基礎的なプログラムを作成できる。	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.1	0.2	0
S921302	川島芳昭	情報技術演習Ⅱ	情報化社会における課題の解決手順を設計するために必要な知識・技能をコンピュータプログラミングの演習を通じて習得する。さらに、Web上で利用できる教材の作成方法について導入する。	社会における普遍的・今日的な課題を解決するには、課題解決のための適切な手順の設計が必要である。本授業は、そのために必要な知識・技能を習得する。	・コンピュータの情報処理の仕組みを説明できる。 ・コンピュータプログラミングの知識・技能を習得し、発展的なプログラムを作成できる。 ・学習指導に必要な簡単な教材を作成することができる。	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.1	0.2	0

平成25年度教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (人間発達領域)

学習・基礎教育 ・ 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組むため、専門的技術と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポ健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S922007	伊東 明彦	情報通信ネットワーク	コンピュータネットワークの概要、データ通信の仕組み、通信プロトコルの種類、各種サーバのはたらきと管理、ネットワークのセキュリティ、などに関する講義を行う。	本授業は、総合人間形成課程の人間発達領域専門科目の一つであり、領域における専門性、特に、コンピュータ・ネットワークに関する知識を高めるといった目標に対応している。	情報化社会の原動力となっているコンピュータのネットワーク技術に関し、その基本的な概念や管理・活用法について理解し、小規模なLANの管理者としての能力を習得する。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.4	0.2	0.1
S921920	堀田直巳	情報システム演習 I	コンピューターを使って実際に「情報システム」を構築する。	免許教科「情報」の選択科目であり、計算機システムの概念等の定着を図る。そのためにUNIX環境におけるコンピュータ・システムの構築と運用を試みる。これら演習を通して、学校教育現場などで運用している小規模LANの運用に関する能力を修得する。また、情報システム運用保守について合わせて理解する。	・計算機システムの概念等の定着を図る。 ・そのためにUNIX環境におけるコンピュータ・システムの構築と運用を試みる。 ・これら演習を通して、学校教育現場などで運用している小規模LANの運用に関する能力を修得する。 ・情報システム運用保守について合わせて理解する。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	0.2	0.1
S950165	黒沢 学	人間発達特講 A	人間発達についての特定のトピックについて講義する。	本授業は、総合人間形成課程の人間発達領域専門科目の一つであり、領域における専門性を高めるといった目標に対応している。	・そのトピックについて、幅広い文献からの紹介を行ってもらう。 ・そのトピックについて国内外の著名な研究者について理解する。	0.0	0.0	0.0	0.6	0.1	0.1	0.1	0.1
S950170	川原誠司	人間発達特講 B	心理学の基本的知識について、問題演習を行う。	本授業は、総合人間形成課程の人間発達領域専門科目の一つであり、領域における専門性を高めるといった目標に対応している。	・受講生は心理学検定を受検し、それに合格することを目標にする。 ・公務員試験等の心理学の問題演習に無理なく取り組める姿勢を身につける。	0.0	0.0	0.0	0.6	0.1	0.1	0.2	0
S950175	川原誠司	人間発達演習 I	「人間発達」に関する専門的視点からの研究に必要な態度や手法を修得するため、専門的知見に触れ、問題設定の手順、接近法あるいは思考法など分析手法の基礎を学ぶ。	自律的な学習計画にしたがい選択した専門分野の研究に必要な態度や知識・手法を修得することを目的としている。4年次に履修する卒業研究Aにつながる、人間発達領域専門科目における必修科目である。	・関心ある専門分野の論文等に触れ、その学問文化を感じ取る。 ・関心ある学問分野の論文作成のスタイルを身につける。 ・興味ある専門分野における知見を修得し、関連文献の収集法や分析手法を理解する。	0.0	0.0	0.0	0.6	0.1	0.2	0.1	0
S950180	白石智子	人間発達演習 II	人間発達演習 I に続き、専門的知見の収集、問題設定の手順、接近法あるいは思考法など分析手法の修得を継続し、専門的視点からの研究に必要な態度や手法を深化させるとともに、自らの卒業研究Aのテーマ設定の手掛かりとする。	自律的な学習計画にしたがい選択した専門分野の研究に必要な態度や知識・手法を修得するとともに、自らの研究テーマを絞り込むことを目的としている。4年次に履修する卒業研究Aにつながる、人間発達領域専門科目における必修科目である。	・関心ある専門分野の論文等に触れ、その学問文化を感じ取る。 ・関心ある学問分野の論文作成のスタイルを身につける。 ・興味ある専門分野における知見を修得し、関連文献の収集法や分析手法を理解する。 ・興味ある専門分野における課題を理解した上で、自らの論文研究テーマを設定する。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1

平成25年度教育学部・総合人間形成課程 カリキュラムマップ (人間発達領域)

学習・基礎教育 学習・教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。 (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組みため、専門的技術と幅広い表現力を身につけている。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。
	(β) スポーツ	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S107400	石川 隆行	子ども理解の心理学	子どもの心身の発達についての知識を身につけ、保育における発達援助について学びます。	人間発達領域の専門科目の1つとして、胎児期から幼児期までの心理発達に関する基礎的な知識を身につけます。	・保育に関わる心理学の知識を習得します。 ・子どもの発達にかかわる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深めます。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.1	0.2	0.1
S107405	石川 隆行	幼児教育相談	子どもと保護者に対する相談援助についての知識とその支援のあり方について学びます。	人間発達領域の専門科目の1つとして、胎児期から幼児期の子どもの関わる者の立場として必要な知識と援助方法を身につけます。	・子どもと保護者に対する相談援助の意義について理解します。 ・保育における子どもと保護者に対する相談援助のあり方について学び、より良い援助について考察します。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.1	0.3	0.1